

# 北海道浮魚ニュース

平成22(2010)年度20号

2010年11月 22日

北海道立総合研究機構水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 11月道南太平洋スルメイカ調査結果

**道南太平洋での11月調査のスルメイカ分布密度は木直沖で昨年を上回った。魚体サイズは昨年と同程度であった。**

函館水試調査船金星丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2010年11月11日～12日
- ・調査海域：木直沖、函館沖

昨年(2009年11月9日～11日)のデータと比較しました。

### 1. 水温(図1)

漁獲調査点4地点のうち、今回観測を行った2地点の表面水温は木直沖 St.1が13.4(昨年12.6)、函館沖St.16が15.3(昨年16.1)でした。水深50m層の水温はSt.1が13.7(昨年12.3)、St.16が15.3(昨年15.8)でした。

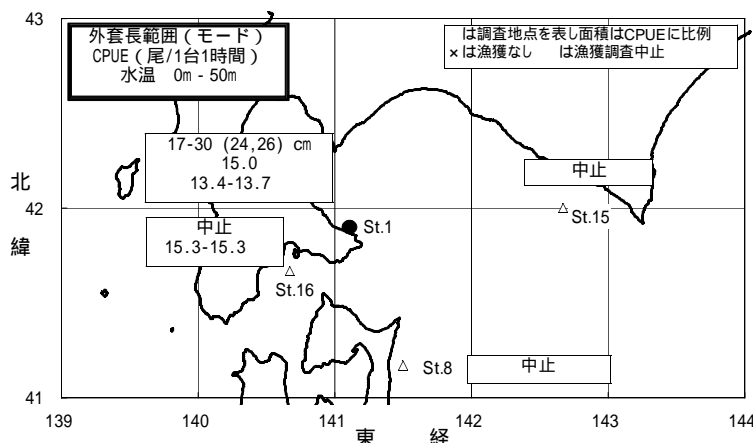


図1 2010年度の漁獲調査結果と水温(2010年11月11～12日)

海洋観測の結果では表面水温と50m層の水温の差は小さく、夏季に見られた表面と水深50m層の間での大きな温度差(浮魚ニュース第15号)は解消されていました。

### 2. 分布密度(図1)

荒天のため漁獲調査は木直沖St.1のみで実施しました。CPUE(2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)の平均は15.0で、昨年の同一地点の値(1.2)及び海域全体の平均(4.7)を上回りました。

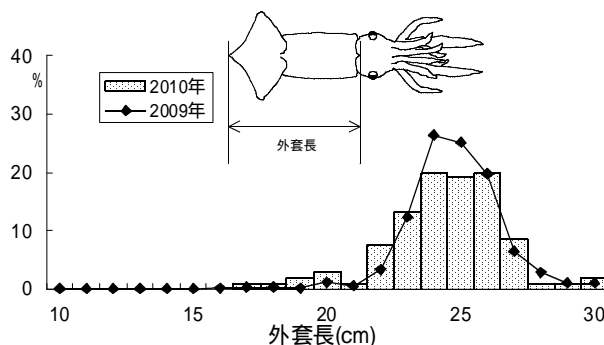


図2 調査海域全体のスルメイカ外套長組成

### 3. スルメイカの大きさ(図1、2)

漁獲されたスルメイカの外套長は17～30cm(昨年16～30cm)の範囲にありました。調査海域全体の外套長のモード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は24cmと26cm(昨年24cm)で、魚体サイズは昨年の海域全体の値と同程度でした。

(文責：函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-57-5997直通、FAX：0138-57-5991)